

緊急赤潮情報2-3

令和6年7月11日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐伯湾でカレニア・ミキモトイ（有害プランクトン）が注意密度を超えています。また、プロロセントラム・デンタータムと混合赤潮を形成しています。魚介類の管理に十分注意して下さい。

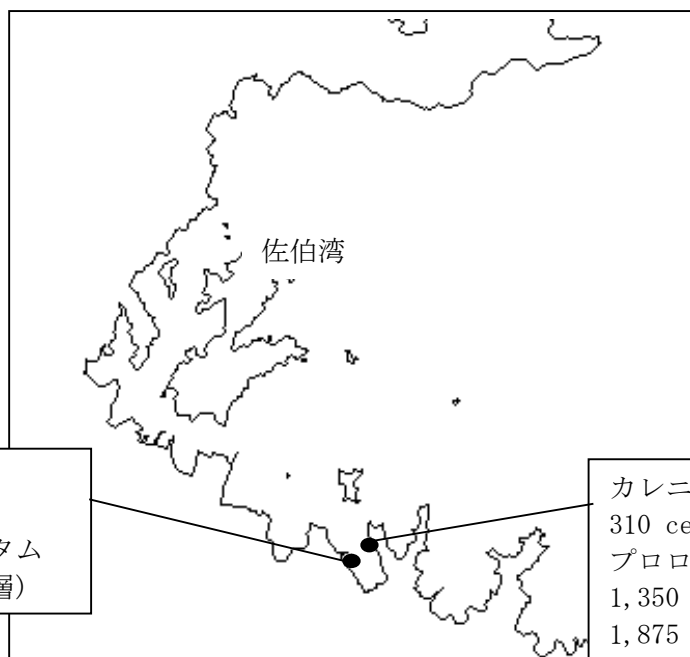
発生場所	佐伯湾
発生期間	7月1日～
プランクトン	カレニア・ミキモトイ
	地松浦(5m層) 358 cells/ml
	沖松浦(3m層) 310 cells/ml
	プロロセントラム・デンタータム
	地松浦(5m層) 1,050 cells/ml
	沖松浦(3m層) 1,350 cells/ml
	(6m層) 1,875 cells/ml

(カレニア・ミキモトイの注意点)

- ・ 注意密度：200細胞/ml 警戒密度：2,000細胞/ml
- ・ カレニア・ミキモトイは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ・ 表層が着色しなくても、中層に赤潮を形成していることがあります。
- ・ 午前中、海色が良くても午後から色が悪くなる場合があります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、蓄養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。

プロロセントラム・デンタータムについて

- ・ 本種は、魚介類に直接、斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンではありませんが、濃密度域ではプランクトンの死骸等による海水の腐敗等によって低酸素状態を引き起こす可能性があります。魚介類の管理にはくれぐれもご注意ください。
- ・ 午前中に海色がよくても、午後から着色することがあります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動します。
- ・ 陸上養殖でも、夜間に取水口から原因プランクトンが進入することがあるので、注意してください。



カレニア・ミキモトイ
358 cells/ml(地松浦 5m層)
プロロセントラム・デンタータム
1,050 cells/ml(地松浦 5m層)

カレニア・ミキモトイ
310 cells/ml(沖松浦 3m層)
プロロセントラム・デンタータム
1,350 cells/ml(沖松浦 3m層)
1,875 cells/ml(沖松浦 6m層)

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 蓄養は控える。